

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断結果の公表

令和6年3月31日現在版 福島県建築指導課

■耐震診断結果の総括表 県所管分（福島市、郡山市、いわき市を除く地域）

震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対しては損傷が生ずる可能性は低く、倒壊するおそれはない。

用途	該当施設数			地震(震度6強以上)に対する安全性			工事中 (内数)	耐震化率
	計	所有者の区分		I	II	III		
		公共	民間	倒壊・崩壊の危険性が 高い	倒壊・崩壊の危険性が ある	倒壊・崩壊の危険性が 低い		
				現行耐震基準未滿（耐震改修等の努力義務あり）		現行耐震基準相当		
学校（小学校、中学校）	<u>26</u>	<u>26</u>	0	0	0	<u>26</u>	0	100.0%
病院	1	0	1	0	0	1	0	100.0%
集会場、公会堂	2	2	0	1	0	1	0	50.0%
旅館	4	0	4	0	3	1	0	25.0%
物品販売業を営む店舗	<u>1</u>	0	<u>1</u>	0	0	<u>1</u>	0	100.0%
体育館	1	1	0	1	0	0	0	0.0%
運動施設	1	0	1	0	0	1	0	100.0%
合計	<u>36</u>	<u>29</u>	<u>7</u>	2	3	<u>31</u>	0	<u>86.1%</u>

※1つの施設に診断建築物が複数棟ある場合は、安全性が低い方の棟のランク（I>II>III）で集計しています。

※福島県所管以外の区域については、所管行政庁である市において、結果の公表を実施しています。

※耐震化率は地震（震度6強以上）に対する安全性がIIIの建築物を建築物の総数で除したものです。

耐震診断の結果等

■学校(小学校、中学校)

令和6年3月31日現在

No.	市町村	建築物の名称		建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	耐震診断の評価の結果(目標値)*	耐震改修等の予定		備考1 (耐震診断に係る補足)	備考2 (改修予定等の補足)	
								内容	実施時期			
1	二本松市	東和中学校		二本松市針道字大町西1	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.02 C _{TU} ・S _D =0.73				耐震改修済み 平成26年2月完了	
											普通教室棟	診断結果により改修不要
											管理教室棟	診断結果により改修不要
2	本宮市	本宮第一中学校		本宮市本宮字懸鉄15	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.02 C _{TU} ・S _D =0.71				耐震改修済み 平成27年2月完了	
											南校舎	耐震改修済み 平成28年10月完了
3	伊達市	掛田小学校		伊達市霊山町掛田字高ノ上2	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.04 C _{TU} ・S _D = 0.78				耐震改修済み 令和2年7月完了	
											管理棟	耐震改修済み 令和2年7月完了
4	伊達市	伊達小学校		伊達市館ノ内20	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 0.65 C _{TU} ・S _D =0.467				既存校舎解体 令和4年9月 建替 令和6年2月	
5	桑折町	醸芳小学校		伊達郡桑折町字桑島三2-8		一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1990年版)	Is/Iso = 1.04 C _T ・S _D =0.59				耐震改修済み 平成9年11月完了	
											管理棟	耐震改修済み 平成9年11月完了
6	川俣町	川俣中学校		伊達郡川俣町字宮ノ脇14	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.04 C _{TU} ・S _D =0.743				耐震改修済み 平成23年3月完了	
7	国見町	国見小学校		伊達郡国見町大字藤田字町尻一2番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.11 C _{TU} ・S _D =0.785				耐震改修済み 平成19年9月完了	

耐震診断の結果等

■学校(小学校、中学校)

No.	市町村	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	耐震診断の評価の結果(目標値)	耐震改修等の予定		備考1 (耐震診断に係る補足)	備考2 (改修予定等の補足)						
							内容	実施時期								
8	田村市	滝根中学校	田村市滝根町大字神俣字中広土192	中学校	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.00$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.706$				耐震改修済み 平成29年10月完了						
9	田村市	常葉中学校	田村市常葉町大字常葉字上野175	中学校	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.01$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.717$				耐震改修済み 平成27年8月完了						
										教室棟(東)	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.06$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.747$				耐震改修済み 平成27年8月完了
										管理教室棟(中央)	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.02$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.721$				耐震改修済み 平成27年8月完了
10	鏡石町	鏡石中学校	岩瀬郡鏡石町旭町158	中学校	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.02$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.76$				耐震改修済み 平成28年3月完了						
					第1期棟(北)	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.00$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.74$				耐震改修済み 平成28年3月完了					
11	浅川町	浅川中学校(校舎・体育館)	石川郡浅川町大字浅川字大明塚120	中学校	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.25$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.88$				耐震診断の結果耐震性有新築工事完了予定(令和7年3月) 旧校舎除却予定(令和8年3月)						
					西棟	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.08$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.76$				耐震診断の結果耐震性有新築工事完了予定(令和7年3月) 旧校舎除却予定(令和8年3月)					
					東棟	「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	$I_s = 0.876$ $q = 1.592$				耐震改修済み 平成19年12月完了					
12	白河市	表郷小学校	白河市表郷大字金山字瀬戸原108	小学校	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.01$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.713$				耐震改修済み 平成24年3月完了						
13	白河市	白河第一小学校	白河市菖蒲沢41-1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.22$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.87$				耐震改修済み 平成23年1月完了						
14	棚倉町	棚倉小学校	東白川郡棚倉町大字棚倉字北町118-1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.08$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.76$				耐震改修済み 平成19年11月完了						
15	棚倉町	棚倉中学校	東白川郡棚倉町大字棚倉字城跡88	中学校	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.04$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.73$				耐震改修済み 平成23年2月完了						

耐震診断の結果等

■学校(小学校、中学校)

No.	市町村	建築物の名称		建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	耐震診断の評価の結果(目標値)	耐震改修等の予定		備考1 (耐震診断に係る補足)	備考2 (改修予定等の補足)
								内容	実施時期		
16	鮫川村	鮫川中学校		東白川郡鮫川村大字赤坂中野字巡ヶ作130-4	中学校	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.07$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.75$				耐震改修済み 平成21年12月完了
17	会津若松市	一箕小学校		会津若松市山見町220番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{so} = 1.04$ $C_T \cdot S_D = 0.740$				耐震改修済み 令和2年1月完了
18	会津若松市	東山小学校		会津若松市慶山1-2-1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{so} = 1.03$ $C_T \cdot S_D = 0.351$				診断結果により改修不要
19	会津若松市	一箕中学校		会津若松市一箕町大字八幡字堰下70	中学校	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{so} = 1.04$ $C_T \cdot S_D = 0.742$				耐震改修済み 平成30年12月完了
20	会津若松市	会津若松市立第一中学校 (普通教室棟)		会津若松市蚕養町11-1	中学校	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{so} = 1.07$ $C_T \cdot S_D = 0.757$				耐震改修済み 平成28年12月完了
21	会津坂下町	坂下南小学校(北校舎)		会津坂下町字石田甲650	小学校	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.07$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.775$				耐震改修済み 平成20年3月完了
22	会津美里町	高田小学校(普通教室棟)		会津美里町法幢寺南甲3505	小学校	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.01$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.71$				耐震改修済み 平成21年2月完了
23	喜多方市	喜多方市立第一小学校		喜多方市字水上6868	小学校	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.04$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.73$				耐震改修済み 平成21年3月完了
							$I_s/I_{so} = 1.18$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.83$				耐震改修済み 平成21年3月完了
24	喜多方市	喜多方市立第一中学校		喜多方市字谷地田上7573	中学校	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.01$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.76$				耐震改修済み 平成24年3月完了
							$I_s = 0.159$ $q = 0.488$				建替済み 平成29年9月完了
25	只見町	只見中学校		南会津郡只見町大字黒谷字上野300	中学校	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.12$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.67$				耐震改修済み 平成19年12月完了
26	南相馬市	原町第一小学校(北校舎)		南相馬市原町区東町2丁目66	小学校	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{so} = 1.01$ $C_T \cdot S_D = 0.75$				耐震改修済み 平成21年2月完了

耐震診断の結果等

■病院

No.	市町村	建築物の名称		建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	耐震診断の評価の結果(目標値)	耐震改修等の予定		備考1 (耐震診断に係る補足)	備考2 (改修予定等の補足)
								内容	実施時期		
27	会津坂下町	坂下厚生総合病院	A棟 (5階建部分)	河沼郡会津坂下町字逆水50	病院	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=0.46$ $C_{TU} \cdot S_D=0.33$				新施設 令和3年11月開院 除却 令和6年3月完了
			B棟 (2階建部分)								
			C棟 (1階建部分)								

■集会場、公会堂

No.	市町村	建築物の名称		建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	耐震診断の評価の結果(目標値)	耐震改修等の予定		備考1 (耐震診断に係る補足)	備考2 (改修予定等の補足)
								内容	実施時期		
28	須賀川市	須賀川市文化センター		須賀川市牛袋町11	公会堂	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.04$ $C_{TU} \cdot S_D=0.639$			建物全体 大ホールの一部分	耐震改修済み 令和3年3月完了
29	会津若松市	会津若松市文化センター	勤労青少年ホーム	会津若松市城東町14-52	集会場	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{so}=0.44$ $C_T \cdot S_D=0.375$				今後の対応を検討中
			福祉センター								
			文化センター								

耐震診断の結果等

■旅館

No.	市町村	建築物の名称		建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	耐震診断の評価の結果(目標値)	耐震改修等の予定		備考1 (耐震診断に係る補足)	備考2 (改修予定等の補足)
								内容	実施時期		
30	会津若松市	原瀧		会津若松市東山町大字湯本字下原235	旅館	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 0.83$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.443$			3階～5階Y方向、6階～塔屋階	改修時期未定
						一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)	$I_s/I_{so} = 0.82$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.288$			B2階～2階、3階～5階X方向	
31	会津若松市	御宿東鳳本館		会津若松市東山町大字石山字院内684 他20筆	旅館	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.00$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.55$				耐震改修済み 平成27年3月完了
32	会津若松市	丸峰観光ホテル(峰来館)		会津若松市大戸町大字芦ノ牧下夕平1128	旅館	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s=0.37$ $q=0.98$	耐震改修	調整中	A棟2階～塔屋階、 A棟・C棟1階X方向、 C棟1階Y方向	耐震補強設計済み 耐震改修予定あり 時期未定
						一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)	$I_s/I_{so} = 1.27$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.66$			A棟1階Y方向	耐震補強設計済み 耐震改修予定あり 時期未定
						一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s=0.69$ $q=1.83$				診断結果により改修不要
33	会津若松市	大川荘(月見亭)		会津若松市大戸町大字芦ノ牧下夕平1208他	旅館	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 0.65$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.39$	耐震改修	調整中	3階～塔屋階	耐震補強設計済み 耐震改修予定あり 時期未定
						一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)	$I_s/I_{so} = 1.13$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.53$			1階～2階	耐震補強設計済み 耐震改修予定あり 時期未定

■物品販売業を営む店舗

No.	市町村	建築物の名称		建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	耐震診断の評価の結果(目標値)	耐震改修等の予定		備考1 (耐震診断に係る補足)	備考2 (改修予定等の補足)
								内容	実施時期		
34	会津若松市	ツタヤガーデンスクエア(旧長崎屋)		会津若松市栄町2番14号	物品販売業	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)	$I_s/I_{so} = 1.025 (1.0)$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.383 (0.28)$				耐震改修済み 平成31年3月完了

耐震診断の結果等

■体育館

No.	市町村	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	耐震診断の評価の結果(目標値)	耐震改修等の予定		備考1 (耐震診断に係る補足)	備考2 (改修予定等の補足)
							内容	実施時期		
35	会津若松市	鶴ヶ城体育館	会津若松市城東町14番51号	体育館	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0} = 0.415 (1.0)$ $C_T \cdot S_D = 0.342 (0.3)$	今後の対応を検討中			

■運動施設

No.	市町村	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	耐震診断の評価の結果(目標値)	耐震改修等の予定		備考1 (耐震診断に係る補足)	備考2 (改修予定等の補足)
							内容	実施時期		
36	会津若松市	会津ロイヤルプラザ	会津若松市中町3番53号	ポーリング場	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)	$I_s/I_{s0} = 1.2 (1.0)$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.475 (0.3)$				

附表 耐震診断の評価の結果と構造耐力上の主要な部分の地震に対する安全性の評価

震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対しては損傷が生ずる可能性は低く、倒壊するおそれはない。

耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性			
	I 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、 又は崩壊する危険性が高い	II 地震の震動及び衝撃に対して倒壊 し、又は崩壊する危険がある	III 地震の震動及び衝撃に対して倒壊 し、又は崩壊する危険性が低い	
一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990年版)	$IS/IS_0 < 0.5$ 又は $C_T \cdot S_D < 0.15$	左右以外の場合	$1.0 \leq IS/IS_0$ かつ $0.3 \leq C_T \cdot S_D \leq 1.25$ $1.25 < C_T \cdot S_D$	
一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	$IS/IS_0 < 0.5$ 又は $C_{TU} \cdot S_D < 0.15 \cdot Z \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq IS/IS_0$ かつ $0.3 \cdot Z \cdot G \cdot U \leq C_{TU} \cdot S_D$	
一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)	鉄骨が充腹材の場合	$IS/IS_0 < 0.5$ 又は $C_{TU} \cdot S_D < 0.125 \cdot Z \cdot Rt \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq Is/Is_0$ かつ $0.25 \cdot Z \cdot Rt \cdot G \cdot U \leq C_{TU} \cdot S_D$
	鉄骨が非充腹材の場合	$IS/IS_0 < 0.5$ 又は $C_{TU} \cdot S_D < 0.14 \cdot Z \cdot Rt \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq IS/IS_0$ かつ $0.28 \cdot Z \cdot Rt \cdot G \cdot U \leq C_{TU} \cdot S_D$
一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版)	$Is < 0.3$ 又は $q < 0.5$	左右以外の場合	$0.6 \leq Is$ かつ $1.0 \leq q$	
「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	$Is < 0.3$ 又は $q < 0.5$	左右以外の場合	$0.7 \leq Is$ かつ $1.0 \leq q$	